

2011年5月11日

## 中国でTFT液晶用大型ガラス基板の第2の生産拠点を新設

**AGC** 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、当社としては中国で2番目となるTFT液晶用ガラス基板の生産拠点を中国広東省深圳市に新設することを決定しました。第8世代のガラス基板まで対応可能な加工ラインを設置し、2012年夏に量産を開始する予定です。

液晶テレビやパソコンの販売が新興市場を中心に増加するなど、今後もフラットパネルディスプレイ市場は年率10%以上で成長し続けることが見込まれています。特に、中国では、TFT液晶パネルの需要が急増していることから、大型液晶パネルの生産拠点の設置が相次いで決定されており、その生産に必要な大型ガラス基板の更なる需要の拡大が予想されます。

当社は、中国市場に対し、日本、韓国、台湾の既存拠点からの出荷でこれまで対応していましたが、需要拡大に対応するため、昨年3月に江蘇省昆山市に大型ガラス基板加工拠点を設立し、今年半ば以降に本格量産を開始する予定です。さらに、今後一層の拡大が期待される中国市場の需要に確実に応えるため、中国における第2の大型ガラス基板加工拠点を設置し、生産体制の強化を図ることとしました。

AGCは、経営方針 *Grow Beyond* の主要施策として「第2のグローバル化」を掲げており、今後も新興国での一層の事業拡大とプレゼンス強化を進めていきます。

### <新社の概要>

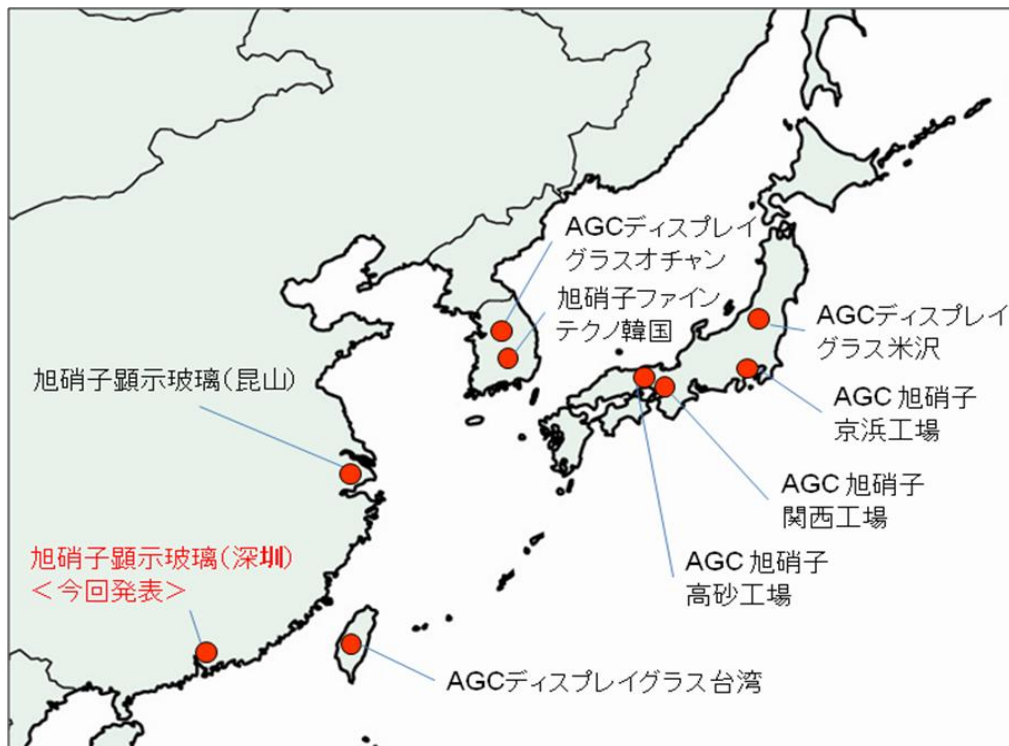
1. 社名 旭硝子顯示玻璃（深圳）有限公司
2. 所在地 中華人民共和国 広東省 深圳市
3. 資本金 22億円
4. 出資比率 AGCグループ100%
5. 設立 2011年3月
6. 事業内容 TFT液晶用ガラス基板の製造（加工）・販売

以上

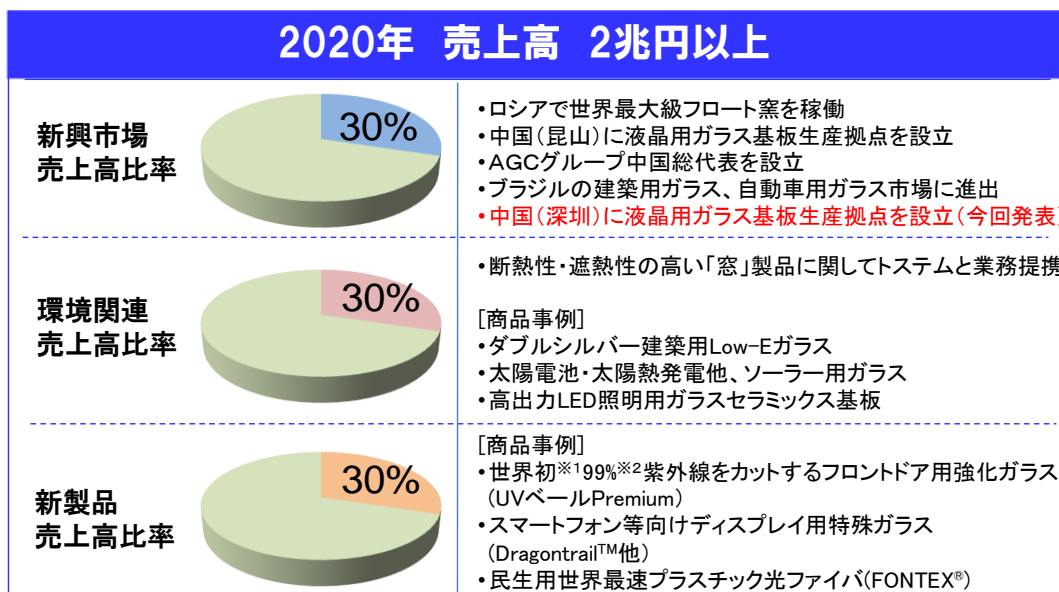
◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株) 広報・IR室長 上田 敏裕  
(担当：戸張 TEL: 03-3218-5509、E-mail: info-pr@agc.com)

<参考資料>

1. TFT液晶用ガラス基板生産拠点



2. 2020年の事業イメージと投資・商品事例



※1 2010年12月現在、弊社調べ。  
 ※2 弊社測定値。ISO9050基準。